

# Safe Volu

(Former First Aid)  
セーフ ボルー

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙

平成 25 年 6 月 6 日発行 (第 83 号)

## 平成 25 年度 静岡県赤十字安全奉仕団 定期総会を開催しました。

平成 25 年 5 月 11 日 (土)、日本赤十字社静岡県支部にて定期総会を開催しました。  
大雨が降っていましたが、44 名の方が出席しました。

西部地区の神田則子氏を議長として次の議案について審議し、原案どおり承認されました。

- 第 1 号議案 平成 24 年度活動報告について
- 第 2 号議案 平成 24 年度決算報告について
- 第 3 号議案 平成 25 年度活動計画 (案) について
- 第 4 号議案 平成 25 年度予算 (案) について

### ～平成 25 年度の活動予定～

イベント救護 (大道芸ワールドカップ in 静岡 2013 他)、赤十字行事への協力 (第 3 回救急法競技会、講習資器材の整備他)、広報誌 (SafeVolu) の発行等…

### ～平成 24 年度活動報告～ (大道芸ワールドカップ in 静岡 2012 に参加した団員の方の感想です。)

#### 大道芸ワールドカップ in 静岡 2012 救護ボランティアに参加して

講習を受ける機会に恵まれ平成 23 年に救急法指導員となり、今回は仕事の都合がつき 11 月 3 日の夜と 4 日の昼、救護ボランティアに参加することができました。

救護所というと、医師や看護師がいて対処してくれるというイメージがあり、救急法の知識があるだけで、実際に怪我や病気の方の対応をした経験はほとんどありません。何とかして欲しいと頼ってくる方に対して、そんな私が対応できるのだろうかという不安がありました。

ボランティア当日、不安な気持ちで受付に行き説明を受けると「何度も参加された方がいるから大丈夫ですよ」と言われるものの、まだ不安は払拭できません。何度も参加されている方々は顔見知りのように会話が弾んでいっちゃう。人見知りな私は何を話してよいのやら…。と不安になりつつ、なるようにしかならないと気持ちを切り替え救護ブースに詰めました。

救護ボランティアのジャンパーを着ると、なんだか注目されているような気がして少し緊張しました。ほどよい緊張感を味わいながら会場のパトロールや救護ブースに待機し、何度も参加されている方の様子を見て何をすればいいのかお勉強。そんな風に過ごしていると、子供が転んだといって親子がやってきました。すると何度も参加されている方が手馴れた様子で洗浄し声をかけ安心感を与えながら傷の観察、圧迫止血と素早い手当てし、医師の診療を勧めて対応されました。





その姿を見て感動を覚えるとともに、「私は医師や看護師ではなく、救急法の知識を活かし、自分のできる範囲で救命手当や応急手当をすればいいんだ。」と赤十字救急法の目的について思い起こしました。

翌日は、最終日の日曜日とあってたくさんのお客さんが会場にいらっしゃいました。天気も良くせっかく来たのだからといって無理されて倒れた方を車椅子で救護ブースまで搬送したり、はしゃぎすぎて転んだ子供が来たりと対応させていただきました。前日の経験もあり、他のボランティアの方と

協力して、自分にできることをすればいいという考えで落ち着いて対応することができました。

的確に全てをこなせる救護ボランティアにこしたことはありませんが、私は医師でも看護師でもありません。また、誰でも最初は初心者です。他のボランティアと協力し自分のできる範囲で応急手当をし、必要があれば救急隊や医師に引き継げばよい。まずは救護ボランティアとして参加してみる。その姿勢が赤十字救急法を実践する第一歩ではないかと感じました。

不慣れな私に声を掛けてくれた皆さん、ありがとうございました。

次回も参加したいと思います。一緒に救護ボランティアに参加しましょう。

(静岡市葵区居住 30代男性)

## ○総会後は、“赤十字減災セミナー”を開催しました。



↑ 毛布を使った搬送

ハンカチで指をけがした時の手当 →

↓ 毛布をガウンのように羽織って効果的な保温

### 赤十字減災セミナー

平成25年度より静岡県支部が実施している新しい講習です。

赤十字が災害に対応するために持っている様々なノウハウをもとに、ひとりひとりが、災害とどう関わって、いかに被害を少なくするかを伝えて、自助・共助の役に立てていただくことを目的としています。



～機関紙・広報部会より～  
 新年度がスタートしました。今年も様々な活動が予定されています。それぞれの活動を通じて多くの方々とのおふれあいをし、有意義な時間を過ごしてみませんか？